

## コロナウイルス感染予防に向けて (2020年2月18日)

新型コロナウイルスに関連した感染症（COVID-19）は、国内でも感染報告がつづいており、たいへん感染力が強いとされています。高齢者や持病のある方などを中心に重症化する例の報告もつづいております。

現時点において、法要や修行は予定通り行われますが、帰苑や苑内活動に際しては、以下の要点に基づいて判断し、適切に行動してください。

### ア. 【以下の方は、症状が出ていなくても帰苑をお控えください】

ご高齢の方、基礎疾患のある方、また、妊娠中などで体調面にご不安がある方

### イ. 【以下の場合、ためらわずに帰苑を控えてください】

- ・発熱・腹痛・下痢・嘔吐、長く続く倦怠感（だるさ）など、風邪に似た症状を感じた場合と、同居者にそのような方がいる場合
- ・帰苑・集会の前に検温をして、発熱が認められる場合

### ウ. 【感染しない、させない取り組みを】

日常においても、帰苑時においても、こまめな手洗い・うがいの励行、十分な睡眠の確保、適度な栄養摂取を心掛けるなど、健康管理に充分注意し、予防と体力の維持に努めてください。咳エチケットを心がけましょう。

### エ. 【そのほか】

武漢等、感染拡大地域に、流行後、滞在された方はこの地域を離れたのち、2週間は帰苑をご遠慮ください。

そのほか、感染地域の滞在者との接触や、症状や状況から感染が疑われる場合、帰苑を控えてください。自覚症状がなくても、感染していると疑われるケースも報道されています。ご注意ください。

なお帰苑自粛により接心が一定期間以上空く場合や、会座等の有効期限切れ、智流学院に関わること、お護摩、お施餓鬼、お歓喜の取り組み等に関しては、追って対応策をお伝えします。

「感染しない・させない」各自のこうした取り組みが、ご自身やご家族を守り、周囲の安心や安全につながります。正法護持の心で、心して取り組んでまいりましょう。

教団では1月末より「感染症連絡会」を招集し、対策会議を実施。重ねて開催、最新の情報収集にあたりるとともに、引き続き対応に取り組めます。情報は適宜更新されますので、よくご確認ください。

感染予防のため、職員や霊能者がマスクを着用することがございます。あらかじめご了承ください。